

## 天声人語

名言なのか、迷言なのか、いずれにせよ戦後政治史に残つてしかるべき言葉であろう。「政治家は、あっせんする動物である」。支持者から頼みごとをされて、役所に働きかける。そんなあっせん行為は国會議員として当然だと、かつて自民党議員が口にした▼1990年代後半、あっせんにより金品を受け取るのを法律で禁止する動きが出たときの反対意見である。激論の末、あっせん利得処罰法が成立してから間もなく20年。政治家の習性は果たして変わったのだろうか▼そんなふうに考えさせられたのが、自民党の上野宏史・厚生労働政務官の件だった。週刊文春に口利き疑惑を報道され、おどとい辞任した。テレビが流した秘書とのやり取りの音声を聞く限り、よからぬ習性がうかがえる▼外国人の在留資格をめぐり、人材派遣会社と法務省の間に入つて、お金を得ようとしていたように聞こえる。そんなことをしたらあっせん利得になるのでは、と言う秘書に対し「違うよ」と反論するところなど、迫真である▼内部の問題を告発する人のことを「ホイッスルブロワー」と言う。警告のため笛を鳴らす人の意味で、最近では笛ならぬICレコーダーが武器になっているようだ。違法なあっせんがはびこっている。自民党は秘書たちに内部通報を募つてみてはいかがだろう▼あっせん利得処罰法案が国会で審議されていった頃の朝日川柳にあった。ヘ金蔓は裏から地下に潜るだけ）。杞憂だ。金蔓は裏から地下に潜るだけ)。杞憂だ。

2019・8・30